

科目名		ヘルスリテラシー特論	
科目責任者 江口 泰正		(人間情報科学 教育教授)	
開講時期:	1年次後学期	単位数:	1 単位
		時間数:	90分× 8 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>近年、医療や保健、教育等の分野で注目されてきている「ヘルスリテラシー」に関して、その定義や要素分類、評価法、そしてヘルスプロモーションや健康教育との関係性を理解し、人々が良好な健康状態の維持増進のために必要となる情報やサービスにアクセスし、理解し、評価し、活用できるように支援していく方法等について探究する能力を養う。</p> <p>1) ヘルスリテラシーの定義とその要素や評価法について説明できる。</p> <p>2) ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション、健康教育との関係について説明できる。</p> <p>3) 医療や保健、教育の現場等でヘルスリテラシーを高める方法を提案できる。</p>			
● 評価方法	課題レポート 60%、討議への参加度 20%、討議や質問時の発言内容等 20% について得点化し、100点中60点以上を合格とする。		
● 参考文献	「ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード」大修館書店(2016年)		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ヘルスリテラシーとは	ヘルスリテラシーの定義、およびその歴史と広がりについて理解する	江口
2	ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション、健康教育	ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション、健康教育との関係について理解する	江口
3	ヘルスリテラシーの要素分類	ヘルスリテラシーの様々な要素について理解する	江口
4	ヘルスリテラシーの評価法	ヘルスリテラシーに関する様々な評価法について理解する	江口
5	情報提供者側のヘルスリテラシー	健康情報を提供する側、支援する側に求められるヘルスリテラシーのレベルや内容について理解する	江口
6	ヘルスリテラシーを高める健康教育法	ヘルスリテラシー向上への健康教育法について理解し、そのあり方について討議する	江口
7	健康行動の変容への行動科学的アプローチ法	健康行動の変容への行動科学的アプローチ法について理解し、そのあり方やヘルスリテラシーとの関係について討議する	江口
8	ヘルスリテラシーの今後	これからの社会におけるヘルスリテラシーの方向性について討議する	江口